

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和5年11月14日

事業所名：中央愛児園

保護者等数(児童数) 33名・回収数 28通 84%

		チェック項目	はい	どちら とも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	0	0	0	問題ない 狭いと感じたことは一度もないです
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	26	1	0	1	特に気になる点はない。 専門性の高い先生方に手厚く支援して頂いており、大変感謝しております。特に、リハビリ職の先生方が保育に入って普段の様子を見て下さっており、相談しやすいのが助かります。とても適切だと思う。 子どもの人数が増えてきて、登園しても先生の付き添いがなく着替えなど保護者任せで支援して貰えない時がある。職員の人数が足りていないのでは。 非常勤の専門の先生は指導の手厚さに差を感じる。個別指導の回数も毎月の人がいる一方、あまり入れて貰えない人もいる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27	0	0	1	適宜絵カードや写真が貼ってあるのでわかりやすい。 不便を感じたことはない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27	1	0	0	いつも清潔に保たれている。 建物が古いのは仕方ないが、不潔と感じたことはない。清掃が行き届いている。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	25	2	1	0	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26	1	1	0	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25	2	1	0	支援に必要な事を先生方も把握して下さっている。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	24	4	0	0	朝のマラソン開始が遅く、朝の会や活動の時間が短く物足りなさを感じる。 マンネリ化を感じることもある。すり込みとしてくり返しの意味も分かるが。 季節に合わせたプログラムで親も楽しいと感じる事がある。 活動時間が短いと感じる時がある。
9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17	2	3	6	定型発達の子どものふれあう機会に出席したことがない。 交流があるのは、とてもありがたいです。	
保護者への説明	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	2	0	0	きちんとされてくる。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	27	1	0	0	目標がハッキリしていてわかりやすく、取組みやすいと思います。 成長が感じられます。 いつも見ながら話して下さる。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	17	5	1	5	定期的にある。

説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	3	1	0	登園する度に子供の今日の様子を聞いてくれるので素晴らしいと思う。 特に担任の先生がとても丁寧に子供の現状や課題を見てくださっています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	0	0	0	いつも気にして下さるので助かっている。 いつも相談に乗って下さり、感謝しております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	6	1	9	親だけの活動はまだ参加した事がないのでよくわからない。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	2	0	9	問題があった時は何度も説明の連絡や謝罪があるのできちんとしていると思う。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	2	0	1	出来ている。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25	2	0	1	行事予定等は会報で確認できるが、個人情報の観点から事後の報告（写真やお便り）はない。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	27	0	0	1	
非常時の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	26	0	0	2	何かあったら連絡が来るので徹底されていると思う。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	1	1	1	事前に連絡がないので、訓練でも緊張感があって良いと思います。 まだ参加した事がないのでわからない。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	22	3	1	2	体調を崩さないかぎり、楽しみに登園しています。 とても楽しみにしております。 いつも楽しそうにしている。
	23	事業所の支援に満足しているか	24	4	0	0	課題については満足できないが、専門知識のある先生に会えるメリットはある。 園での様子を詳しく聞けて安心しています。 子供だけでなく親も先生方や親御さんとお話するのも楽しいのでとても良い。 いつもありがとうございます。充実のカリキュラムな反面、併用になり、スケジュールが大変だと思うようになりました。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所職員向け評価の集計結果(公表)

事業所名 : 中央愛児園

職員数 7 名・回収数 7 通 100 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	1	人数によって2部屋使用し分けている。グループによっては部屋が狭いと感じることがある。人数が多いクラスは広い部屋を使ったりと工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	5	2	0	その日に応じて流動的に配置している。フリーの職員が臨機応変に動いています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	3	0	写真や絵カードを使用していることもあります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	0	教室と手洗い場との距離があるため、絵具や小麦粉が共有スペースに落ちた状態になることがある。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1	1	リハビリや保育で話をしていくようにしています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	アンケートの結果を職員で読み、改善点などを話し合うようにしています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	0	0	柔軟に対応を考えている
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2	0	研修はあるがなかなか全職員が受けるのは難しいです。
適切な支援	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	面談を行い保護者のニーズを確認しています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	0	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	各専門職が集まって立案している。

の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3	0	全体では、その日に行えていない時がある。日によっては、十分な振り返りが実施できないことがある。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	0	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	3	0	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	2	0	必要に応じ連携を取っています。必要な方は連携を取っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3	4	0	医療的ケアが必要な方は保護者が対応しています。主治医からの情報提供書は提出していただいています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	4	0	情報は書面で頂くようにしています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	0	訪問や電話で適宜情報交換をしている。訪問や電話でのやりとりで話をしています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2	1	就学支援シートや電話等で情報を共有しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	2	機会は少ない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	0	0	今年度からまた保育園交流が再開した。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	3	1	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	1	0	普段から支援を個別で行っている。集団でのペアトレはなし。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1	0	文面では多く伝えている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	0	0	

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	保護者からの相談内容によって、保育、リハビリ、医療各分野で対応し情報共有を図っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	1	父母会はなし、保護者同士で語り合える機会をもっとふやした方が良い。 交流を取れる機会は設けているが、回数は少ないです。子供を預かってもう少し回数を増やしたいです 保護者会として行うことは少ない。研修は行っている。 おもちゃつきがコロナの影響で中止となり、保護者主催の行事が休止している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	必要に応じ一斉メールも使用しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2	0	おもちゃ図書館を月2回開催し、地域の子どもが遊びに来れるようにしています。 園児家族のみで行うことが多い。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	3	0	不審者対応を行っていない。 防犯マニュアルは不明。 防犯訓練は実施できていない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1	0	不審者対応の避難訓練は行っていない。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0	トレイの色を変える、Wチェックする
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	2	0	身体拘束を行うことがない。 今年度より支援計画書に記載説明を実施。

事業所における自己評価の結果(公表)

チェック項目		取り組みの状況
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令を遵守したスペースを確保していますが、支援の内容(課題等)によっては、工夫を必要としています。限られたスペースの中で適切なサービスを提供できるようさらに検討していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	法令を遵守した人員配置に加え、機能訓練職員の加配、保育補助員の配置をしております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	園児の個人マークや写真や絵カードを用いた支援を行っています。今後も園児が空間認知しやすいように工夫していきます。園児の安全確保のために常に危険な箇所がないかを確認し、その都度改善に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	毎日の清掃・消毒を徹底し、安全・清潔を保っています。感染症防止のため、備品・訓練用具などの使用後の消毒を徹底しています。換気の実施や各部屋に空気清浄機を設置した感染症対策を実施しています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	保育士並びにリハビリスタッフとで意見を出し合い、計画の立案を行っております。実行後も振り返り、改善しています。振り返りの時間をしっかり取れるよう引き続き業務の効率化を図っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	自己評価による保護者等向け評価表よりいただいたご意見を集約し、サービス提供や業務改善に反映させています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	事業所自己評価表、職員・保護者向け評価表の結果及び事業所における取組みは、法人ホームページにて公表しております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3年に1度、外部の評価機関による第三者評価を受審しております。利用者調査や評価機関による結果を基に業務改善につなげていきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部研修への参加、内部研修の実施・受講計画を立て、定期的に行っております。今後も職員の二一ズやレベルに応じた研修への参加を継続すると同時に、職員の積極的参加を促していきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の二一ズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	保護者との面談にて、アセスメントを行い、児童発達支援計画を作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	全園児共通の項目を標準としています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	児童発達支援計画には、運動・言語・日常生活動作を項目とし、保育士・機能訓練職員が園児の課題を客観的に分析し、支援内容を設定しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	保護者と個人面談を行い、保護者の二一ズ、園児の発達段階に応じた計画を立て、保育課題や園での活動の中で支援をしています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	クラスごとに課題の立案を行っています。課題の立案は、保育士、リハビリスタッフとで行っています。活動プログラムの目標など保護者に説明しながら行っていきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	毎日の流れを身に付け、園児が自発的に行動(準備や片付け)できるようにしていくと同時に、園児の発達につながる保育課題を立案しています。季節の行事や、園外での活動(散歩や公園)も積極的に実施しています。朝の会・課題保育の時間をしっかり確保し、活動を行っていきます。

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	年齢別に分けたクラスの保育を実施しております。園児の発達に応じた機能訓練の小グループも設定しています。保育士とリハビリスタッフでお子さんの状況を確認しながら計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日のミーティング時に課題（支援）の体制の確認を行っています。園児降園後は、保育中の園児の状況など振り返りを行い、園児情報の共有を図っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	その日のうちに全職員で振り返りを行う時間が確保できるよう、業務の効率化を図って行きます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	園児の記録・支援内容等を記録し、職員間で共有しています。非常勤職員とも連携して行っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	二期制を取っており、半期ごとに保護者と個人面談を行い、保護者と一緒に園児の発達段階に応じた計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	相談支援事業所とのサービス等利用計画のモニタリングは、児童発達支援管理責任者が行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	併用先保育所等の関係機関との連携を行っているケースがありますが、すべての園児については行えておりません。今後、さらに関係機関と連携した支援が行えるようにしていきます。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	医療的ケアの必要な園児は保護者に対応をお願いしております。医療体制は、法人診療所の診療統括医、嘱託医及び看護師による定期的な観察を行っています。主治医の診療情報提供書の確認をしております。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	就園先と相互で保育場面の見学を行い連携を取り、園児の目標・課題について適宜情報共有し支援を実施しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	就学支援シート作成、教育委員会等の行動観察、担当者会議を実施しています。卒園後も就学先とは、必要に応じて情報交換を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	全国児童発達支援協議会に参加しているほか、他の児童発達支援センターや自治体が主催する研修会等に参加しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	区外の保育園に協力を得て、交流保育を実施しました。今後も活動する機会を増やしていきます。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	自治体が主催する連絡協議会等に参加しています。会議等開催時は積極的に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	日々の活動での様子を保護者と確認しながら、できるようになったことや、苦手なことを伝え合っています。親子分離クラスでは、支援後にフィードバックを行っています。支援計画についても、保護者と随時確認してまいります。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	毎月1回保護者研修会を行い、保護者向けの勉強会等を実施しています。親子通園を行うことで、保育を通して親子関係を築きながら子どもの成長を促していくことへの理解を深めていきたいと思っております。	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	入園時（利用契約時）に重要事項の説明並びに利用者負担金の説明を行っています。 また、制度改正や報酬改定時は、その都度説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	学期ごとに保護者と個人面談を行い、園児の発達や保護者のニーズを確認しながら支援計画を立て、保護者の同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	個人面談では、しっかりと時間を取り、支援計画だけでなく、ご家庭での子育ての様子についても話し合っています。 また、保護者からの面談は日時など調整して実施いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	感染症の影響で、中止や縮小をしてきた行事については、通常の実施を再開してまいります。行事通じて家族間が交流できる機会を作っていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	保護者からの相談や面談は随時対応していますのでご遠慮なくお申し出ください。 また、医師・看護師とも医療の相談ができる体制を取っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月の全体の活動予定や行事予定、クラスごとの詳細な保育予定を配布および、法人ホームページにも公開しています。 また、園からの緊急連絡なども一斉メールにて発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	個人情報が含まれる文書、個人ファイルは鍵付の書庫にて厳重に保管するなど適切に取り扱っています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	連絡帳にて、保護者と職員で情報伝達を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域支援を目的とした「おもちゃの図書館」を開設し、近隣の子どもの遊び場として開放し、交流を図っています。 子育て相談も実施しております。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	毎月1回、避難訓練を実施しています。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	入園時には囑託医による診察を行い、病状・発作等の状況を確認しています。 服薬管理は保護者にいただいています。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	診療統括医によるアレルギーの診察を行ってから、給食を開始しています。 アレルギー除去食を提供しています。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例が発生した場合は、ヒヤリハット報告書を作成し、園長への報告、職員間での共有し、対策を行っています。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	法人で虐待防止委員会を設置しています。 虐待防止に関する研修会を継続開催していきます。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	法人の虐待防止委員会にて、身体拘束適正化を推進するため、指針の策定、事例検討の他、必要な対策を実施します。 サービス提供時に、ベビーラック・姿勢保持装置を使用する場合の安全ベルトを用いて実施することにつき、児童発達支援計画書に記載しております。 法人全職員に対し、身体拘束適正化のための研修を実施してまいります。